夕刊
磐城新聞
十一月十九日發行
定價　一部金五錢　一ヶ月金六拾五錢（郵稅拾五錢）
廣告料金　一行（普通欄金六拾錢　特別欄金九拾錢）五號十二字詰一行（場所指定一行增）
編輯印刷兼發行人　福島縣石城郡平町十六番地　松木
發行所　磐城新聞合資會社
〔日曜祭日翌日休刊〕

鑛山友子組合の事
夜話 2
テー・アイ生

同じく徳川時代には
一、山師金掘師を野武士と號すべし
一、山師金掘師の儀は國々關所見石一通りして可相通事
一、山師金掘師人を殺し、山内に駆け込むとも留置し、委細を改め山師金掘師の節明白相立ち候はゞ留置し相働かせ可申事
等々非常に坑夫を待遇したものらしい

○

閑話休題、當時の採掘法は極めて幼稚であり、先進者よりそれを習得する等種々の關係から親分子分、兄弟分の仁儀が必然的に發生したものである

又採掘が極めて小規模であつたため、一ヶ所に永續的に事業を繼續することは不可能であり、絶えず他方鑛脈の發見に努むる等の關係から鑛夫に諸國を遊歷する習慣を與へた

○

尚且つ當時の坑内設備の程も想像に餘りある可く業務は甚で危險性を帶びて居た

之等種々の原因から同病相憐れむ災害共濟、相互扶助の必要を痛感せしめ全國鑛夫を打つて一團とせる交際坑夫の組織が結成されたのである

○

交際坑夫には渡坑夫と自坑夫の二種類あるが、この區別の理由に就いては種々の説があり明かでなく、渡坑夫は無妻獨身で諸方を歩くと謂ひ、或は親分の外兄分あり、親分に對し扶養の義務を有するとも謂ひ

自坑夫に就いては元來地坑夫であり、土着のものを意味すると謂ひ、或ひは有妻で自分の家庭に對しては自由であるからとか渡坑夫と異り親分に對する扶養の義務がなく自由であるから等とも謂ふ

○

友子の交際は前述の如く一鑛山内の救濟と不具癈疾者に對する全國的救濟との二つであるが、最近鑛業界の躍進は採掘法を大規模にし、災害の數も亦增加し、之の救濟にひとり交際坑夫が當るには餘りにも負擔が過重となり、他方地方鑛業法の規定する共濟組合等救濟法の發達により友子の救濟にさして賴ることがなくなつて來た

○

殊に不具癈疾者に對する箱元交際は極めて不經濟である等の理由からこの友子の交際は最近漸次改善を圖りつゝあり、社會一般の進步と共に相當の變革を來たす傾向がある

潮聲硯靜抄帳

芋の露　世燕

芋の露逃げゆくあとの子露かな
芋の露女かくれば珠は朱に
露の徑さながら水をゆくごとし

蟷螂　翠雨

蟷螂の鎌立てゝ首かしげたる
鈴虫に黍の穗しろき夜晴かな
小てゝ虫露けき草に殖えにけり

豆のうた
竹馬　苫

秋だ
日和だ
コバルト色だ
豆で達者でおいらは元氣だ
そうだ
みのりだ
オークル色だ
おいらはたいらではちきれさうだよ
パチンとはじけて障子を叩くよ
叩くよ
叩いた障子も太皷のやうだよ

殘り香
永田絢子

○端座して遠く見向ふなら林犬つれて人の入りゆくが見ゆ
○家に歸るたんぼ細道夕くれてなかぬ鴉のわが上を過ぐ
○玉ねぎを切りしが殘る手のかをり夜ふけめさめてさびしみにけり

社會の今日
11月20日

△米國より組立家屋來る（天正一二）△我飛行隊海倫の馬軍を擊滅す（同六）△リットン卿滿洲國不承認を全世界に放送す△各務原飛行學校假開校式擧行△日本勞働同盟結成大會を東京で開會（同七）

○

日は沈みぬ。されども星は上りぬ。日は明日の準備をなしつゝあり　エマーソン

看護婦の晝寢のいびき冬褪　貝城

島山（五）
野村吉司

仕方がないので平太郎さんは一同の先頭になつて坂を登りました。しかし實際のところではあまりいゝ氣持でもないらしく、少年の一人から棒切れを借りて、道ばたの雜草をボンボン叩いて行きました

『蝗がゐるかも知れんよへてな』

と言ひました

やがて一同は島山の頂上に出ました。頂上は露出した赤土で所々に曲りくねつた松の木が生きてゐるだけです

『えゝ眺めぢやなあ』

平太郎さんは芝居がゝりの口調で言ひました。少年達も口々にその眞似をしました

『えゝ眺めぢやなあ』

見渡す限り平野です。黃色い稻の海です

『水飢饉ですつかり稻が枯れてしまつてゐる地方もあるが、此邊はなんともなかつたから良く出來てゐる』

と言ひながら平太郎さんは、この間見て來たばかりの地方の氣の毒な有樣を思ひ浮べました。その地方は夏中ちつとも雨が降らなかつたので、農作物はすつかり枯れてしまつてゐました。百姓は食べるものが無くなつて、木の根を掘り出して僅かに露命をつないでゐるのです。一杯の水さへもお金を出さなくては飲めないのです

『だけど、いくら澤山お米が出來たつて、みんなどこかへ行つてしまふんだもん……』

五郎は不平さうに言ひました

——こんなに見渡す限り稻の海でも、さてお米になつて俵につめ込まれると、片つぱしから荷車や馬車でどこかへ運び出され、村には一俵も無くなつてしまふのです。折角これ迄たんせいして作り上げた百姓達の家にはほんの少しのお米しか殘つてゐません。それどころか一粒も自分の作つたお米は食べる事が出來なくて、お金を出して町の米屋からお米を買はねばならない家が多いのです

講談
戸隱奇譚 山の怪秘 (43)
丸山寛雄作　眞木浪書

拷問堂（七）

『がん像の中で祈る事でござる、つまり、あれに見ゆるのががん像でござる、只今、祈願供養が始まる故、これにて御覽なされ』

所化僧は立つた

今し方、駈け込んだ町娘がお豊を納めたがん像の祈願が行はれるのだ、英蓮、英仙の二人の役僧は既に、前机の下に着座して讀經を始めやうとしてゐる、所化僧は祈願に先立つて、燈明をともして廻る。内陣は一段と明るくなつた

男は堂内の隅に座つて祈願の情景に見とれてゐる

『コーン！』

これは英蓮の座右にある鐘板の音。つゞいて

『クワーン』

と大きく響く鐘鉢、これは所化僧の鳴らしたものである。次に英蓮、英仙が聲を揃へて唸り出すやうな讀經のひゞき。密經である。後を追かけるやうな木魚の音、これは英仙が讀經しながら打つてゐるのである

高く低く、幽玄に嚴肅に或時は十萬億土へ引き込まれる如く、或時は蓮華咲く天上界へ舞上る如く、讀經の音律はまた格別である。間斷なく打つ木魚の音波に崩れ搖らめく燈明の焔、讀經の間に間にゆるやかに糸を曳いて立のぼる香煙

男は、この情景を呆氣にとられて眺めてゐた。からした寺院の内容には理解のなかつた男であるが、讀經の聲を聞いてゐる内、うつとりとなつて來て、意味もなく有難味がしみ込むやうであつた。法悦とはこんな事を言ふのだ。しかし彼にたつた一つ解せないものはがん像と呼ぶ細長い箱であつた。所化僧の説明を思ひ出した彼は、その中へ人が入つて何をしてゐるのであらうといふことが氣になつた

やがて讀經は、一段と間延びのした聲になつて、靜かに終つた。正面の朱の法衣が立つて振子を振つて禮拜し、退いて岩の階段を下りて行つた

『どうでござる。斯樣な有難い御勤經によつて、あのがん像の中にある人の念願が立ちどころに叶へられるのでござるぞ』

所化僧はそこへ戻つて來て言つた

『では、御坊樣、この靈水にて萬一、恢復の渉々しくないときには早速病者をこれへ連れて參り、今の有難いがん像とやらの祈願をたのみ仕まつります』

すつかり、この堂内の氣分に參つた男は立上つて答へた

『早く、さうなされるがよい。陀羅尼水とて靈水であるゆゑ、効目のないことは露更ないが、たゞ要するに長くかゝることでござる。諸々百八の煩惱を消滅致さす際は呉々も三度頂いて額に萬遍なくつけることでござる』

男は、そこで、素燒きの瓶に入れた陀羅尼水を抱へて、嚴不動堂を出た

『どうやら彼奴も、物になるぞ、世間の人間なんて奴は存外甘えもんだ。あはゝ』

所化僧は後を見送るなりからつぶやいて哄笑した

その時、階下にあたる疊敷の部屋では、英蓮と英仙が勤經衣を脱ぎ、磨り切れた粗末な墨染衣に着換へて何事か小聲ではあるが威勢よく話し合つてゐた

『もう下げませうか』

英仙である

『もつと絞ぼつてもいゝぢやないか』

英蓮の分別臭さうな聲

『出して、それからどう致しませう』

『さうだな、戒壇の中へぶち込んでおかうせ、直ぐ歸すには、いかさま惜しい玉だからな』

『それは大きにさうですとも』

二つの影は、例の左手の物置部屋へ行く

圖畫作品 入賞兒童
郡下から廿八名

縣下小學校圖畫科初等教育協議會並に兒童作品展覽會は去る十六日より三日間男子師範校で開催され既報郡教育會選出委員の研究發表あつたが入賞校並に兒童左の如し

○學校賞—平第一、同第三、小名濱

○個人賞—△平第一（尋六）鈴木將夫（五）折笠直彥（五）新妻幸男（二）小齋幹夫　△同第二（尋二）草野トシ子（二）佐々木雅子（五）櫻庭美代子（六）高橋澄子　△同第三（尋四）齋藤マキ（二）吉田正治（二）小宅スミ（六）松崎惣兵衛　△豐間（尋四）阿部イチ（三）阿部リエ　△赤井第二（尋四）鈴木武（六）渡邊正男　△磐崎（尋二）西郷恭雄　△内郷（高一）草野忠雄（二）根本元二　△鹿島（尋六）鈴木三敎（二）渡邊孝夫　△夏井（尋三）箱崎庄子（三）山名信子（六）根本和子　△四倉（尋二）佐藤總子（五）四家富之助（六）箱崎八重子（高一）長谷川宏　△草野（尋二）相又美代子（四）新妻トキ子　△大野（尋四）木村忠之（高一）長谷川義治　△神谷（尋三）鈴木眞志子　△大浦（尋五）會川淑子　△勿來（尋一）根本敬子（四）田山光子（五）齋藤行孝　△小名濱（尋二）堀越昌（三）中村稔（四）尾城義男　△江名（尋四）中西宏（高二）田口明　△平窪（尋一）高田正昭　△内郷二（尋六）三森正男（六）薗部邦保（五）釣巻敏晴　△好間（五）石井文子（六）薗部正雄（高二）本田二三子　△湯本（尋一）塚本一夫（高二）寺主正治（二）早立房枝

平局内野球

平局内野球リーグ第二日の試合は昨十八日午前十時より第一校庭で擧行、戰績は

集配10—9保險
郵便7—6電信

で、集配は依然三戰三勝で首位を占めて居る

。。。。木炭品評會

永戶、澤渡、箕輪、三坂聯合木炭品評會は二十二日より二日間永戶村渡戶小學校で催す

。。。。小川農產物品評會

村農會主催で來る二十二日より四日間同村小學校で催すが出品五百點の見込み

。。。。磐城洋灰劍道會

四倉町磐城セメント會社内磐窯体育會では來る二十五日午前九時から劍道大會を催す

。。。。平鐵撞球大會

昨十八日俱樂部で開かれたが入賞者は一等永山、二等山崎、三等永沼、四等猪狩、五等中根各氏

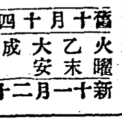
。。。。構内タクシー檢査

水戶運輸事務所室伏書記、渡邊技手兩氏は今十九日午前中平驛前に於て構内タクシー車体檢査を行つた

。。。。樫村兵曹出席

平在鄉軍人會海軍部長一等兵曹樫村義衞氏は明二十日より三日間橫須賀で開かれる橫鎮管下海軍部長講習會に出席のため今夕出發する

二十日
日出　六、二一　日沒　四、三二
月出　後三、三三　月沒　前五、一一
滿潮　前五、〇五　後三、五五
干潮　前一〇、二五　後一〇、五〇



舊十月十四日
火曜　乙未　大安　成　尾宿
新十一月二十日

諸判定聽者　東京市本郷區湯島四丁目五番地　高島易斷總本部　神讃館

▲一白の人　忍苦は其人を玉となす倦まず勉むるが勝ち▲二黑の人　外の敵より内の亂れを防ぎ協和を謀るべし▲三碧の人　ぬれ手であはをつかむが如し萬事進み行ふに吉し▲四綠の人　一家一門同體となりて働くべし願望成就す▲五黃の人　沈着と勇氣を振り立てゝ進むが勝たるべし▲六白の人　卑屈の弄策は不意に急轉惡化することあり▲七赤の人　べう努力强く屈せず萬事を處すれば大吉たり▲八白の人　力を計らず深入すれば後悔ほぞをかむに至る▲九紫の人　大望を起す時は八分の成功も二分にて失敗

廣告

自動車ノ御用ナラ何デモ御仰セ付願ヒマス。

驛前
昭和タクシー
電話　三三三　四四〇　三三番
一、充實セルタクシー部
一、高級大型團体遊覽車
一、乘合（豐間、江名、中之作方面　小名濱直通　靈峯閼伽井嶽）
一、貨物一般運送

專門ノ店
電灯メートル工事
同　特種一般工事
動力工事
木村電氣商會
平新川町　電一七九一番

自轉車ノ月賦販賣
御通知次第御伺ヒ致シマス。
エビスヤ自轉車店
平町南町　電六六四

高久病院
平町田町（電話五三一番）
醫學士　高久忠
新潟醫學士　赤羽濟
藥劑士　佐竹甫睦
内科・小兒科
外科・花柳病科
耳鼻咽喉科
レントゲン科

夜間診療
胃腸・性病
内科　胃腸病科
花柳病科　性病科　皮膚科
專門
松村胃腸性病科醫院
（平町南町電一〇七番）

精神病科
腦脊髓病科
神經病科
郡山腦病院
郡山市外大槻村針生
郡山驛より約三十丁　安積中學より約五丁
院長醫學士　金森五郎
電話九二五番
入院隨時

耳鼻咽喉科專門
醫學士　鈴木正男
平町田町（電話五八番）藤田女學校前

齒科口腔外科
日本齒科醫學士　鈴木喜政
『入院のお需めに應ず』
鈴木醫院
内郷村高坂磐炭病院前

產科
婦人科
花柳病科
午前宅診
午後往診
入院應需
井坂醫院
平町田町（元合津醫院跡）
電話五五九番

月曜論壇

全町民奮起せよ
鐘紡工場運動の要

近き將來の市制實施に備ふる平町の資源調査は、茫漠混沌たる裡に何物かを把握せんとする所謂暗中摸索の迂遠を敢てせずとも、今や吾人町民の前に而も明瞭に展示された、他無し過般來傳へられつゝある大鐘紡工場の設置說即ち之で、最に諸般の條件に惠まれ昭和人絹を獲得した錦村に對して衷心羨望措く能はざりし吾人町民は、最も多くのプロバビリチに富む該問題に當面しその運動宜しきを愆らずんば旋て之が實現によつて反對に各方面を呆然羨殺するに充分なる立場に置かれてあるとは近來極めて愉快な事では無いか

○

由來絹糸紡績の企業には電力料及び燃料の安價なる事、水質の良好なる事を必須とするもので、平町に於ける電力料は他に較べて未だ必ずしも低廉とは云ふ事が出來ぬとしても大体理想に庶幾き良水を有し且周圍に有する殆ど無盡藏の炭田は、平ならでは見られぬ獨特の燃料安を期待する事が出來、運搬費の不要其他之に因て生ずる利得が採算上電力料の重課等を相殺して尚ほ剩す處蓋し少からぬものあるは、既に磐城片倉製糸が全國同系會社中隨一の燃料安に終始してゐると云ふ生きた證據があり、此點斷然他の追隨を許さぬ平町の強味である

○

抑々鐘淵紡績は我國紡績業の草始時代たりし明治二十年五月の創設に係り現在資本金六千萬圓（拂込二千八百五十九萬五千圓、積立金四千八十三萬八千圓）の大機構を有し今年上半期には實に五百七十六萬圓の利益金を上げ、他の同業會社が甚だしきは無配、三分等より最高たる東洋紡績（資本金七千九十七萬五千圓）帝國人造絹糸（三千六百萬圓）すら尚ほ一割八分に過ぎざる折柄二割五分配當の特超成績を擧げた等、その社礎に鐵石の堅實味を暗示するもので我邦紡績界に儼然君臨する大鐘紡王國が平町に觸手を動かすに至つた事は町として何たる幸慶事であらうか

○

而も之の計劃を聞き込んだ白河、二本松、郡山等では既に夫々自市町に之を迎ふべく策戰を開始したるやの風聞がある、此際平町が拱手して何等爲す無きに於ては、叙上幾多の條件に惠まれ乍ら他の爲に折角の油揚げを奪はるゝが如き事無きや未だ以て測り知るべからざるものあるに深く思ひを潜め急速に之が實現運動に邁進すべきであらうと思ふ、若し夫れ漫然として降り掛つた絶好の機會を逸するが如きあらば何事にまれ其の責任を歸納し過ぎるかも知れぬが、會に齊沼町長の鼎の輕重を云爲さるるに止まらず辯てその責任を問はれぬとも限らない。道は近きに在り、隣接部落の併合曷んぞ須ゐん、之れさへ出來れば待望の市制實施は畢竟渠成つて水通じ春回つて木華開くの自然解決のみ吾人は此際老名町宰と全町議の奮起に至囑するの念極めて痛切なるもの無きを得ない

鐘紡工場の所要地は 大概二三萬坪程度か
町の運動如何で實現有望

鐘紡工場新設敷地として平町の郊外を相せられつゝあると云ふ快報は、事が餘りに突發的であつた處から一部にあらぬ臆測さへ行はれた程であつたが右は決して錦村の昭和人絹に涎を流した一部の夢物語りで無く現に神戸なる同社企劃部に於て計劃中のものであり、既に福島市の同社第一、第二兩工場首腦者に對し各方面から寄々諒解運動の手が伸べられつゝある模樣で、假令種々の好條件に惠まれて居るとは言へ此の場合平町の猛運動は最も必要な事なので昨今の平町にとつては正に天賚の福音とも云ふべき該計劃に對しては須く擧町一致の奮起を急ぐべきであると識者間の意見が漸く高まつて來た、因に所要敷地は過般十萬坪位に傳へられたが事業の性質上恐らく二、三萬坪程度であらうと

給食兒百十四名
山間部炭鑛地漁村の順
郡下の悲慘な統計

凶作不況の反映たる去る十五日現在郡下の要給食兒童は山間部、炭礦地、漁村の順で三百四十七名、內實際給食兒百十四名と言ふ戰慄す可き數字を示して居り、各學校では縣の通牒に基き萬遺漏なきを期するため再度調査中であるが右に就いて幸ひ一人の該當者を出さない平町某小學校長は語る

市內三小學校を通じ或ひは要給食兒は居るかも知れぬがその調査は極めて困難であり常に細心の注意を拂ひつゝある。尚偏食粗食の救濟は一日も忽に出來ず日夜頭を痛めて居るが何分にも經費が問題で意の如くならない。云々

一受檢場
自動車
八幡小路町有地に設置計劃

自動車協會平支部幹事會は一昨十七日午後一時から平署會議室で開き既報經費三千圓で設置すべく計劃中の自動車体檢査場所を八幡小路元磐中グラウンド町有地に選定、直に町當局に交渉する事になり一方これが經費捻出のため管内自動車業者より一臺十圓宛を醵出する事になつたと

印紙稅違反處罰
小名濱町古港一六一建具商齋藤新太郎(三八)は四月六日頃同町日光商會宛作成交付した建具代金二十圓他領收書に相當印紙を貼付せず此程平區より略式で科料三圓

大平町の玄關口に 黑字は微笑む
增收揃ひの驛上半期成績

平驛今年度上半期の動靜は（括弧內は比前年同期增）乘客 六二一四、九三七人（八、三五三）降客六一三、三五七人（四、三八〇）發送小荷物 二三、六六八箇（六三一箇）一七九瓲二六五瓩（九瓲九三三瓩）到着四二、七一七箇（二、八九五）三五七瓲三七五瓩（二一瓲〇九一瓩）發送貨物 三三二、三六二瓲一五三瓩（一一、八二六瓲七四〇瓩）到着七六、七二九瓲八八九瓩（二四、七九二瓲六三五瓩）この收入 旅客 一三六、五五二圓六五錢（九、三二〇圓三八錢）手小荷物 八、四六一圓九四錢（四七〇圓七七錢）貨物 四六、一三六圓〇七錢（一二、六〇七圓九二錢）と何れも頗る明朗な黑字振りであるが旅客の方は團体遠距離旅行者の增加、貨物は重工業の活氣による石炭鐵、鐵製品をはじめ一般物貨の敏活なる動きによるものであると

第二校女兒の手で 救濟義金百六圓
けふ町役場に寄託

凶作地を救への聲は今やいたいけな小學兒童の同情心をあふり自分達の手で幾分でも援助したいと平第二校高等科二年生自治會員一同は校長の許しを得て去る十六日より三日間各組各班に別れて戶別訪問の上一組四圓九十八錢、二組は町內要處に進出街頭募金をなして九十六圓五十三錢を得たので學校では五年二組生一同の醵金一圓九十二錢、二年一組倉田洋子さんの二圓、三年一組柳內良子さんの五十錢を合せ計百五圓九十三錢を町役場を通じて縣下の凶作地に送ることになつた

磐炭で三名
メタンガスで遭難

今十九日午前六時半頃內郷村町田新坑で爆破作業中メタンガスのため折から作業中の同村宮字町田四九菅野作次郎(三九)同村平太郎高橋貞夫(三六)同村宮字峯根四四市川啓治(三七)の三名が遭難、直に救助作業に着手した結果、菅野は直後、高橋も同八時半頃何れも發見されたが殘る市川の死体も同十一時發見さる

憂色を漂はせて
古川改修計劃還元 陳情團歸る
成行き氣遣はる

古川改修計劃の還元實行に關する青沼町長外委員の陳情團は一昨十七日午前中三代議士と共に內務省に於て廣瀨土木局長等と面接了解を求め、その足で大藏省賀屋主計局長に面會を求めたが雪崩れ込む各地陳情團の爲其の意を得ず約束の同夜九時に再び同省を訪ね極力該事業と地元開發との關係を詳說したが同省では全國的削減でもあり尚同川は夏井川改修の附帶工事に拘らずこれを所新規事業と觀てゐるやうだから現狀維持は望み薄と觀られるとあり、折角得た來年度三十六萬圓の大豫算も一大頓挫を來すではないかと憂慮されて居ると

影響は甚大
町近來の重大事

前記改修が若し此儘流產と決れば町將來の發展を阻害する事頗る甚大で第四小學校の敷地が決定されぬのみか肝腎な都市計劃上から觀てもこれが隣接部落合併區域、其他これに基關する諸工作を阻止され、尚着々準備を進めて居る鐘紡工場を初め町發展の素地をなす各種工場の建設などにも及ぼす處多いので改修の實現を熱望する聲が高い

藤原義江氏來演
來月五日磐女と平館で
會津郷友會が義金造成

平在住會津郷友會では郷土凶作義捐金募集のため來月五日テナー藤原義江氏を招き晝は磐女校で、夜間は平館で獨唱會を催すが同氏が平町程度の處で開演するのは初めての事で該趣旨に感じた同氏の義心は各方面から賞讃されて居ると

名殘りの觀楓
昨日平から五十名

江田信號所一分間停車の最終日昨十八日は京濱地方、水戶—平間各驛からの二割引も明二十日で終る處から今年度名殘りの紅葉狩りとして折柄の好天氣に惠まれ平驛からの乘車は約五十名あつた

故山の冷旱害に 涙する若い學徒
早大生中村某君
本社に義捐方を依賴

磐中關係の在京學生より成る勿來會が郷里の冷旱害救濟の爲敢然街頭に起つて義金募集の擧に出でんとしつゝある旨既報の通りであるが地方出身早大在學中の中村某君は此程左記書狀を寄せ小遣錢を節約した現金一封の處理方を本社に依賴して來たので今十九日直に町役場に之が手續方を申し入れた、親の膏血たる貴重な學資の一部を割いてカフェーの赤い灯に吸ひ寄せらるる學徒も少からぬ今日聽くだに快い話である

今般の東北地方の冷害に依る悲慘なる狀態は幾多の哀話と共に日々の新聞が吾々の胸を打ちますが學生の身である私達は、積極的の救濟も成す事が出來ないのを心苦しく思つて居りますが、萬止むを得ずに誠心からの御同情を以て、郷土の皆樣の試練への努力を祈つて居る次第であります。不幸中の幸とでも申しませうか、御地の方は其の慘害も比較的他縣に比べて少ないさうで結構な事と喜ばしく考へて居ります。東京に於ても東北救濟の言は街頭に叫ばれて義捐金を募集する人々の數も決して少い物では御座居ません。私達は一日でも早くそうした事でも作つて無力ながら御助力せんと具体的案を草じて居ります。併し實行は東北出身學生(ワセダ)の幾多の會が聯合して新聞社の御後援の下に成すとの話しです。貴社の新聞紙も我が家から廻送されて居りますので、平地方の慘狀も了解出來ました。年末をひかへて大部御苦しい立場に居られる樣に思はれますから、其の氣の毒な方々の爲に幾分なりとも御慰致したいと考へて學生の身で大した事は出來ませんが、冬の洋服を作らうとして貯金し始めた小遣が少し有りますから此れをお送り申します御社にてよろしく御處理下されば幸甚です。又年末には通學の側ら家業を手傳ふて居りますからいくらかボーナス(?)が有りませうから氣の毒な方々へ御送して、はるかに誠心からの御慰のしるしともいたしたいと思ひます （後略）

法廷に ―友情の花―
東京から辯護（殺人事件）に 子供時代の親み甦る
磐女生百餘名が傍聽

双葉郡新山町大字前田字善能寺日雇乘農石橋宗助(五二)が會飲を執拗に迫られ剩へ罵られた所から日頃の溫和に似合はせず酒の勢も手助ひ斧を揮つて相手を慘殺した事件は愈々明廿日午前十時より平支部に於て中島裁判長係り、關口、香西兩判事陪席、清田檢事關與、竹馬の友のため東京から辯護の役を買つて出た佐藤勇辯護士立會の下に公判開廷することになつた、尚當日は磐城高等女學校四年生約百名が公民科鈴木敎諭引率の下に傍聽すると

小名濱を食つた インチキ金融魔豫審終結
近く平支部で公判

東京市荏原區中延町九〇一永井武三方居住廣島縣福山市櫻町一二七生れ太田徹夫(四五)が帝都證券並に帝都融資なるインチキ會社を設立し平町白銀町に事務所を置き無智な投資者より多額の金員を騙取した事件は過般來平支部に於て荒井豫審判事係り審理中であつたが此程文書僞造行使、公正證書原本不實記載行使、詐欺、商法違反罪として終結決定し平支部の公判に付された

徹夫は所謂モリス式金融會社の設立を劃て友人なる高山雅治、熊澤仙次郎後藤國吉等と謀り東京市麴町區內山下町一町目一東洋拓植ビル內に事務所を置き、昨秋東京區裁判所に於て虚僞の登記によつて帝都融資株式會社及帝都證券株式會社を設立し會社の營業狀態優秀なる如く宣傳し、八月初旬江名町大字下神白馬目國太郎氏に融資會社株三十株を買はせ、小名濱支部長にすると甘言を以て三百七十五圓を騙取したのを手始めに同下旬同人より六十株五百圓、小名濱町橫町熊谷寅次郎氏、同竹町中山瀧雄、本町馬上與八、平町白銀町松崎安及び長野縣飯田町遠山方章等から何れも百五十圓前後を騙取し、去る三月二十三日には會社を讓渡すと欺いて東京市城東區龜戶町五丁目高橋亮氏より之亦多額の金を詐欺したものである

。。。。豐間の小火
昨十八日午後八時頃豐間村豐間自動車業鈴木房次郎方車庫のガソリンから火がつき屋根に燃え移つたが直に發見消し止めた

娘を歸さぬ
病に呻く
平署へ說諭願

小名濱町定西齊藤よしは生活難のため昨年暮二女しのぶ(一九)を千葉縣千葉郡幕張町中宿八五八志村仁三郎方に女中奉公に出した處、最近よしは病氣にかゝつたので一時娘の歸宅方を主人に願ひ去る九日旅費三圓五十錢を送つたが主人が橫領して返さぬのでよしは今十九日平署に說諭方を願ひ出た

。。。。。狡い遊び捕はる
住所不定無職飯野村下荒川生れ前科三犯阿部連次郎(四二)は昨十八日午後十一時頃平町鎌田遊廓內小泉樓に登樓四倉町新町本多直次郎に刀の買入れ方を賴まれた十圓の小爲替を持つてゐると安心させ十餘圓を遊び支拂ふ段になつて該爲替を見ると一圓を改竄したものなので同樓から平署に突き出され目下取調べ中だが同人は右樣の常習的男であると

亡師に酬ふ
醵金の建碑に
第二卒業生の美擧

平第二校卒業の左記諸孃は在校時代の恩師で一昨年死去した四家安男氏の建碑を計り津田校長及び井上保護者會長の後援を受け過般來資金募集した處無關係者の援助等もあり百十一圓を獲たので愈々明廿日豊間村大字豐間共同墓地に建碑、來る二十四日の三周年忌當日除幕式旁々法要を營むことになつた、碑石は勿來產黑御影石に平町梅崎安由氏により『恩師四家安男先生之墓』と認め二間四方石柵を繞らしたものであると

石黑共代　江川芳枝　大塚郷子　大平はな子　風間カツ　佐藤リン　鈴木きみ　新妻芳子　平澤フク　宮內トキ　吉田スミ子　吉野カン

泥除けの老客負傷
飛ばされた帽子を押へやうとして墜落

平窪村上平窪農鈴木淺治(七七)は昨十八日午前八時頃平町南町芹澤自動車部國分正夫(三三)の運轉する乘合自動車の泥除けに乘つて疾走中、同村君ケ澤地內で帽子を飛ばされこれを取らんと手を離して墜落、頭部及兩手に全治一ケ月の傷を負つた

。。。。繭商訴へらる
澤渡村上市萱宇榎下繭商加藤一郎(四二)は去る九月二十三日平町南町七八草野國亥(四五)に石十五圓で玉繭十六石を賣約內金三十圓を受取り乍ら現品を送らぬので手付金詐欺の目的ではないかと草野から今十九日平署に告訴された

給仕二名募集
十五六歲身体强健の者
自筆の履歷書携帶
希望者來談あれ
本社

耳鼻咽喉科專門
平町田町七〇番地
山內醫院
入院隨時
病室完備
（看護婦見習一名入用）
醫學士 山內亨吉
電話 六九一番

◎日本石油株式會社特約店
ライジングサン石油株式會社重油特約店
關彰商店平支店
本店 水戶線下館驛前
電話 六一番
（電話 五五番）

營業種目
輕油、石油、揮發油、モビール油、重油、マシン油、機械油類、植物油、胡麻油、コールタール、カーバイト、石炭、コークス、ストーブ

支店所在地
茨城縣土浦町田宿（電話六五三 八二四）
常磐線關本驛前（電話平潟五四）
常磐線四倉驛前（電話四八）
◇海上給油及油槽所 久慈濱、大津、平潟 小名濱、江名濱